

滑川市総合体育センター 滑川市スポーツ・ 健康の森公園 様



「FREESPOT」導入キットと屋外用無線LANアクセスポイントで避難拠点機能を拡充する公衆Wi-Fiを整備

目的・課題

公衆Wi-Fi導入

業種

官公庁／自治体

導入商品

Wi-Fi
(無線LAN)

隣接する2つの大型公共施設に災害時の拠点機能を拡充。
高セキュリティで快適な公衆Wi-Fiを屋内外で利用できる環境を整備



導入先プロフィール (2022年6月現在)

施設名	滑川市総合体育センター
所在地	〒936-0023 富山県滑川市柳原238
URL	https://n-sports.jp/center/
施設名	滑川市スポーツ・健康の森公園
所在地	〒936-0023 富山県滑川市柳原41-1
URL	https://n-sports.jp/park/

年間の利用者数10万人を超える「滑川市総合体育センター」に併設して、平成26年に建設された「滑川市スポーツ・健康の森公園」。大会などが年間約50回開催されています。また両施設は指定緊急避難場所に指定されており、災害時拠点として支援物資の受入・分配やボランティアセンターの役割も担うことになります。災害時でも情報取得がスムーズに行えるWi-Fi整備は喫緊の課題でした。バッファローの「FREESPOT（フリースポット）」導入キットと無線LANアクセスポイントを用いて認証機能などで安全性の高い公衆Wi-Fiを構築しました。災害時には緊急時モードでパスワード入力不要のWi-Fi通信が可能です。

課題

災害時に利用できる
Wi-Fiを導入したい

- 災害時拠点として機能強化 ▶ 災害時にWi-Fiを開放したい
- Wi-Fi導入による月額費用 ▶ 経費の負担を軽減したい
- 屋外スペースへのWi-Fi提供 ▶ 屋外への機器設置も必要

対策

「FREESPOT」導入キットと屋外でも設置可能な
無線LANアクセスポイントの採用

効果

公衆Wi-Fi整備で交流・
災害時拠点として機能向上

- 「緊急時モード」搭載 ▶ 災害時はパスワード不要に
- サービス運用費が不要 ▶ ランニングコストの削減に
- 屋外で公衆Wi-Fiを提供 ▶ 来訪者の利便性向上に

選定の ポイント

「FS-M1266」なら災害時に防災Wi-Fiへ切替できる
「WAPM-1266WDPRA」は直射日光下への設置が可能

お客様インタビュー

滑川市役所
総務部企画政策課
デジタル化推進係
麻柄 浩太氏



「FREESPOT」導入キットと屋内外無線LANアクセスポイントで広範囲での多台数同時接続を可能に。災害時の拠点として地域の要となる施設へと変化

概要

- ・災害に備え大規模施設にWi-Fiを整備
- ・安全性の高い公衆Wi-Fiを屋外で実現

広範囲で利用可能な公衆Wi-Fiを構築

市民への健康促進を図る「滑川市総合体育センター」と「滑川市スポーツ・健康の森公園」。収容可能人数が多く、災害時の避難拠点としての役割も担います。利用者の利便性向上と災害時の機能拡充のためにバッファローの「FREESPOT」導入キットで公衆Wi-Fi環境を整備しました。

気軽に使えるセキュアな公衆Wi-Fi

認証機能やアクセスログの保存などができる、高いセキュリティ機器の導入ながら、回線費以外のランニングコストは不要。限られた予算の中で大規模な施設へ公衆Wi-Fiを整備し、施設利用者へ手軽に提供できるようになりました。

目標・課題

- ・災害時拠点にWi-Fi整備が必要
- ・施設利用者から公衆Wi-Fiの要望

災害時に利用できるWi-Fi環境が必要

災害時拠点になる公共2施設へのWi-Fi導入は以前から検討されていました。滑川市役所 総務部企画政策課 デジタル化推進係 麻柄浩太氏(以下、麻柄氏)は「大規模施設ゆえに導入費用が最大の壁でした。国の補助金申請には総務省が設けている機器要件(※)を満たす必要があり、高い安全性とコスト抑制の両立が課題でした。」と話します。

来訪者が気軽に使える公衆Wi-Fiの整備

災害時にはスムーズな情報取得が重要となります。そのためにWi-Fi整備は欠かせません。一年を通して大会などが開催される同施設では、平時においても以前から学生を中心に施設利用者の公衆Wi-Fiを望む声が寄せられていました。

※総務省「公衆無線LAN環境整備支援事業」に定められる認証基準(不正利用防止)にかかる要件

解決策

- ・「FREESPOT」導入キットを選択
- ・屋外や直射日光に対応した機器を導入

初期費用だけで利用可能な「FREESPOT」を採用

大規模な公衆Wi-Fiサービスの導入ではコストが課題でした。麻柄氏は「整備費約500万円の見積もりがあった一方、『FREESPOT』導入の試算は約300万円。ランニングコスト不要で大幅に費用を抑えつつ、十分な公衆Wi-Fi環境を整備できました。」と話します。

屋外用無線LAN機器で広範囲利用を可能に

利用者からは屋外休憩スペースで公衆Wi-Fiを望む声もありましたが、専用回線を引くには新たな費用が必要となります。管理棟のネットワークをそのまま利用し、直射日光に強い屋外用無線LANアクセスポイント「WAPM-1266WDPRA」とリピーター機能(WDS)により広範囲でWi-Fiをつなげました。



直射日光が当たる場所でも設置可能な「WAPM-1266WDPRA」を導入。

効果

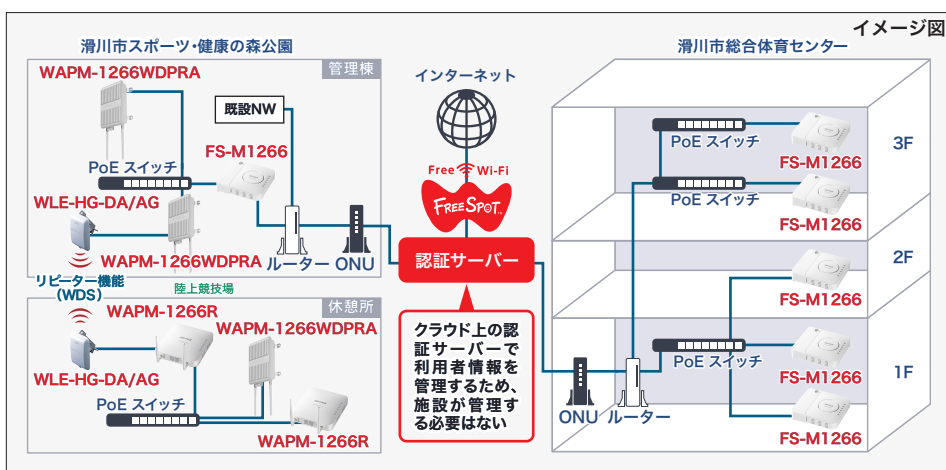
- ・Wi-Fi整備で避難拠点機能を拡充
- ・利便性向上で地域活性化にも期待

災害発生時にWi-Fiの活用で減災を目指す

「FREESPOT」導入と無線LAN機器の複数設置で総合体育センターメインアリーナの観覧席をカバーし、隣接する柔道場や剣道場での接続も可能にしました。災害時は「緊急時モード」へ設定することで、避難者にパスワード不要なWi-Fi環境を提供できます。

成功例として他施設への公衆Wi-Fi導入を後押し

同市では大規模施設への公衆Wi-Fi整備の成功例ができたことで、今後同様の施設にも公衆Wi-Fi導入を加速する方針です。新規の導入だけでなく、既存の公衆Wi-Fiサービスから、コストパフォーマンスに優れた「FREESPOT」への切り替えも検討しています。「さらに多くの地域で安全で安定した公衆Wi-Fiを提供することで利便性の向上を目指し、地域の賑わいを創生させていきます。」と麻柄氏は話してくれました。



滑川市総合体育センターには、緊急時モードに対応している「FREESPOT」導入キット「FS-M1266」を設置。
滑川市スポーツ・健康の森公園の管理棟と休憩所周辺は屋外用モデル「WAPM-1266WDPRA」をそれぞれ設置。

導入商品



3年保証
公衆Wi-Fiサービス
「FREESPOT
(フリースポット)」
導入キット

FS-M1266



5年保証※
11ac/n/a & 11n/g/b
直射日光対応 完全屋外対応モデル
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-1266WDPRA



5年保証※
11ac/n/a & 11n/g/b
DFS障害回避機能搭載
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-1266R

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長